

【ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り】

公的年金の5年に1度の「財政検証」の結果が7月3日公表され、過去30年間と同程度の経済状況が続いた場合でも、現役世代の平均収入の50%以上を維持できるとされました。それによりますと、現役世代の男性の平均手取り収入を100%として、夫婦2人のモデル世帯が受け取る年金額の割合＝「所得代替率」は過去30年間と同程度の経済状況が続いても、およそ30年後には50.4%と、今より10ポイント程度、低下するものの、政府が法律で約束する「所得代替率」50%以上は維持できるとしています。厚生労働省は、見通しが改善したことなどをを受けて、来年の制度改正では国民年金保険料の納付期間の5年延長を見送る方針をだしました。

【訪問看護ステーション翔からのお知らせ】

今年の夏は例年よりもさらに猛暑日が続いています。前月の訪問看護からのお知らせにもあったように熱中症や脱水症状に注意する必要があります。自分では水分をたくさん摂っているつもりでも気づかないうちに汗や尿としてどんどん身体から水分が出ていきます。日中だけではなく夜間、寝ている間にも起こりうる症状です。少しでも身体の異変に気付いたら早めの対処を行いましょう。また、日頃から食事や睡眠をしっかりと摂り、上部な身体作りを心がけましょう。お店やネットでは熱中症対策の商品も多数見かけるので、そういったものに頼ってみるのもいいかもしれませんね♪



【職員紹介】

【名前】 佐師 マキ 【所属】 訪問看護ステーション 翔

【出身地】 宮崎市

【資格】 正看護師免許・普通自動車免許

【趣味・特技】 御朱印集め・(昔)スキューバダイビング



【今仕事以外で頑張っていること(楽しんでいること・お気に入りのスポット・お気に入りの物)】

仕事以外で頑張っている事は、家事です。

【社長からのひとこと】

～当たり前の幸せ～
暑い日が続きますね・・・皆様はいかがお過ごしでしょうか？
わたくし池田、実は5月始めより体調を崩してまして1ヶ月の入院後今は自宅療養中なのです。膠原病の一種で皮膚筋炎という病気で、感染症に気をつけなきゃいけないので人との接触を極力避けて自宅で生活する日々が続いております。
突然のことで色々戸惑いもありながら過ごしているのですが、自由に外出したり外食したり、人と会ったりできないことがこんなにも不便で辛いものとは・・・当事者になって初めて感じた感覚でした。また入院中は子供達と会えず、今までの当たり前の日々が幸せだったんだなあと感じさせられました。
今回の入院では病院スタッフの素晴らしい気遣いやプロ意識を感じた反面、不快感や不安感を感じる対応をされるスタッフがいたのも事実で、私たちは施設運営をする中で、入所していただく方々のこの不便さや不安感、家族と離れる寂しさ、そして集団生活の様々な制限を受けながら生活しなければいけないことをしっかりと心に留めてサービス提供しなければと改めて感じました。 令和6年7月末

有限会社 聖 代表取締役 池田 豪

～ビジョン～
「子供からお年寄りまでが希望を持ち、幸せを感じながら共存できる社会の創造」

～原点回帰をして、
私たちが提供すべき本質的なサービスとは何かを考えよう～

ひじりにズームイン！

2024年
8月号

介護のフ口委員会

～高齢者虐待防止の取り組みについて～

高齢者虐待防止法(平成17年11月9日法律第124号)

(目的) 第1条

この法律は高齢者に対する虐待が深刻な状況にあり、高齢者の尊厳の保持にとって高齢者に対する虐待を防止することが極めて重要であること等にかんがみ、高齢者虐待の防止等に関する国等の責務、高齢者虐待を受けた高齢者に対する保護のための措置、養護者の負担軽減を図ること等の養護者に対する養護者による高齢者虐待の防止に資する支援の為の措置を定めることにより、高齢者虐待の防止、養護者に対する支援等に関する施策を促進し、もって高齢者の権利利益の擁護に資することを目的とする。
国や地方公共団体の責務を定めるほか、

「虐待を受けた高齢者の支援」
「高齢者の養護者の支援」の2本立て。

支援を目的とした法律で、虐待者を罰する規定ではない。

高齢者虐待の定義

- 身体的虐待 ●介護・世話の放棄・放任(ネグレクト) ●心理的虐待 ●性的虐待 ●経済的虐待
- ※施設で行う身体拘束も虐待になります。

★自覚がないままに虐待をしてしまうことも・・・

虐待をしてしまっている当事者は、自分が虐待をしているという自覚がないことが多いものです。また、「高齢者のために」と思ってやっていることが、虐待に繋がっていることもあります。そのため、施設や事業所には研修(勉強会)が義務付けられています。研修を受ける事で自分を振り返り、虐待防止に取り組んでいきます。

- 障がい福祉制度は日々変化している ⇒ 昔はOKでも、今はダメ!
- 「ここではこういう支援です。みんなしている事です」はNG! ⇒ 悪しき伝統を作らな

職員すべてが常に最新情報を取り入れて、知識をアップデートしていくことが必要!!

支援者も「人」である、利用者を守るのは職員、職員を守るのは組織。

虐待が発生しない環境づくり・・・相談できる、指摘できる、評価し合える、支え合える「環境」を!!!

有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン 飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホーム さくら荘

デイサービス 陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション 翔 (訪問看護)
ケアサポートセンター ひじり (居宅介護)
ケアセンター さくら (訪問介護)



【ケアセンターさくら便り】

このたびケアタウン飛鳥にてコロナが発生し、ご家族様には大変ご心配をお掛けしました。幸い2週間ほどで収束し、重症になられる方もおられず、スタッフ一同安堵いたしました。たださくら荘の方でも少数の方ではありますがコロナ陽性反応が出ており、また気を引き締めて皆様の支援にあたってまいります。今回のコロナは感染力が高くなっておりますので、ご家族様におかれましても体調等お気をつけくださいませ。

心地よい共感
上質な暮らし



7月7日の七夕に向けて、利用者の皆様に天の川を作っていただきました。全員に短冊を書いていただき、たくさんの願い事が出ました。皆様の願い事が叶いますように。

心地よい共感
上質な暮らし



令和6年7月16日にスイカ割を開催しました。特大のスイカでお一人お一人スイカに向かって一振りされ少しずつ割れ目が！！利用者様もとても喜ばれており、皆様に美味しく頂きました。また来年も楽しみとおしゃってました。